

科目区分	専門教育科目	授業科目名	領域「言葉」の指導法Ⅱ			科目コード	26Y209	担当者	船勢 肇			担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	1年次	開講学期	秋学期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	保育士選択		
授業形態	演習	履修条件	「領域『言葉』の指導法Ⅰ」を履修済みであること。								教育職員免許法 施行規則に 定める 科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目		実務の経験内容及び 科目との関連									科目に含める ことが必要な 事項		

授業の主題	子どもの言葉の獲得方法、発達、およびそのための援助の仕方について学習する。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	授業後に質問する機会を設ける。また、授業中においても演習へのフォローを行う。
授業の方法	演習を中心に行う。演習においては講義の内容を踏まえ、各自が保育実践に臨む。	アクティブ・ラーニングの 実施方法	幼児教育における言葉の指導について、実践的な模擬保育の発表をおこなう。

回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	授業の説明 発表の計画	これまでの見直し	
第2回	模擬保育の実践①	保育を実践する 他の実践を観察し学び取る	
第3回	模擬保育の実践②	保育を実践する 他の実践を観察し学び取る	
第4回	模擬保育の実践③	保育を実践する 他の実践を観察し学び取る	
第5回	模擬保育の実践④	保育を実践する 他の実践を観察し学び取る	
第6回	模擬保育の実践⑤	保育を実践する 他の実践を観察し学び取る	
第7回	模擬保育の実践⑥	保育を実践する 他の実践を観察し学び取る	
第8回	模擬保育の実践⑦	保育を実践する 他の実践を観察し学び取る	
		事前・事後 学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者 名/出版社]	教科書なし	受講生への メッセージ	子どもの前での実践、授業中での発表等、人前に立つ機会が増える。自らも楽しみながら、講義内容をよく聞き、十分な実践準備(考案、制作、評価、反省)を行うこと。
参考書 [書名/著者 名/出版社]	なし		

